

平成27年度

学生によるオレンジリボン運動広島文化学園大学看護学部実施報告書

実施主体

**看護学部ボランティアサークル・吹奏楽部・看護研究発表会運営委員会**

実施内容

|  |
| --- |
| ➀事前に取り組んだ内容 |
| **オレンジリボン啓発運動、児童虐待に対する事前学修、オレンジリボン啓発運動アンケート調査（オレンジリボン運動認知度、児童虐待に関する知識、オレンジリボン啓発運動・児童虐待防止に効果がある活動について、自分にできる児童虐待防止活動についてなど）**  **児童虐待防止に関するパネル作成** |
|  |
| ②実施期間に取り組んだ具体的内容 |
| **ⅰオレンジリボン啓発運動：大学内ロビーへのパネル展示、アンケート調査結果の掲示、オレンジリボンツリーを設置し、オレンジリボンを誰でも自由に持ち帰れるよう工夫した。**  **ⅱ学園祭：地域住民、来賓、法人・大学関係者、保護者会参加者へのリボン配布と説明**  **ⅲ市や民間団体主催のイベント参画：一人暮らしの高齢者食事会での演奏会開催とオレンジリボン配布と説明、広島土砂災害・東日本大震災被災者傾聴ボランティアでのオレンジリボン配布**  **ⅳその他：大学主催医療教育関係者・市民公開講座、看護研究発表会でのオレンジリボン配布** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ③オレンジリボン運動を終えて・・・ |  | 大学祭でオレンジリボン運動    研究発表会、公開講座でのオレンジリボン運動    介護老人保健施設演奏会での啓蒙活動 |
| **オレンジリボンについて地域の方や大学生に伝えるときに、相槌を打ったり積極的に身に付けてくれたりする方が多く嬉しく感じた。オレンジリボンについて詳しく学ぶことで、自分自身の勉強にもなった。また子どもの虐待防止への関心が深まり、オレンジリボン運動をすることにより、貴重な体験をすることが出来た。みんなでオレンジリボンを作ることで、チーム内での雰囲気がよくなり、協調性を身に付けることにも繋がった。**  **今回の活動を通して、いろんな人にリボンを配って知ってもらうことで、少しでも多くの子どもたちの虐待防止に貢献できたらいいなと思った。この体験によって、さらに子どもの将来を守りたいという気持ちが強くなった。これからもオレンジリボン運動を継続していきたい。そして活動を継続することで、より多くの方に知ってもらい、参加してもらうことで、活動の輪がより大きく広がってほしいと思った。** |

【広島文化学園大学看護学部】　http:// www.hbg.ac.jp/univ/nurse